

道央のものづくり

産業支援事業ガイド No.11

2023年4月発行

CONTENTS

- ◆ 産業支援事業ガイド2023 P. 2～P. 7
- ◆ 2022年度財団支援事業等実績 P. 8
- ◆ 財団助成事業の企業紹介(日生バイオ株) P. 9
- ◆ 財団技術コーディネーター、GKK紹介 P. 10
- ◆ 苫小牧市テクノセンター紹介 P. 11
- ◆ 地域の話「第39回全国都市緑化北海道フェア」... P. 11

公益財団法人 道央産業振興財団

表紙 安平町立早来学園(2023年4月開校)

産業支援事業ガイド2023

技術者の育成、ものづくりを支援します！

道央地域《苫小牧市、千歳市、恵庭市、安平町》に所在する
中小企業等が支援事業の対象です（みなし大企業は対象外です）。

《実施要綱は、当財団のホームページをご覧ください》

1. 研究開発の支援

申請期限：5月31日（水）17時

【詳細はP3をご覧ください】

中小企業が行う技術開発や技術の活用研究等に要する経費の助成など、地域の高度技術の研究開発に寄与する事業を実施します。

①新技術・新製品開発助成事業

中小企業の技術開発・生産技術の促進を図るため、新技術・新製品等の開発、試作品の製造及び生産工程の合理化・高度化等に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・産業化への応用が可能な技術開発事業
- ・市場化が可能な製品開発事業
- ・生産設備の高度化、生産工程の合理化を図る事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、
外注加工費、技術指導費、委託費、分析依頼費、
デザイン開発費、その他経費



②技術開発の芽育成助成事業

中小企業の技術開発の促進を図るため、新技術・新製品等の研究開発を行う上で、課題解決に必要な試作完了までの基礎調査、情報収集及び開発検討に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・産業化への応用等の研究開発事業
- ・市場化への可能性等の研究開発事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、
外注加工費、技術指導費、委託費、分析依頼費、
デザイン開発費、その他経費



2. 製品開発の支援

申請期限：5月31日（水）17時

【詳細は下段をご覧ください】

地域技術の応用や地域資源を活用した「製品開発に要する費用」の助成など、地域における製品開発を支援する事業を実施します。

①製品開発助成事業

地域技術の応用による製品化及び商品化を行うため、商品開発、情報収集、販路拡大などの事業を行う中小企業に対し、製品開発に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・産業化への応用等の開発事業
- ・市場化への可能性等の開発事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、外注加工費、技術指導費、委託費、分析依頼費、情報収集費、デザイン開発費、消耗品費他



②地域資源活用助成事業

道央地域の農産物等の資源を活用した製品・商品開発等の促進を図るため、付加価値の高い製品・商品開発を行う中小企業等に対し、製品開発に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・道央地域の資源を活用した新製品、新商品の開発
※農・畜産・林産・水産・地下資源を活用した事業

対象経費

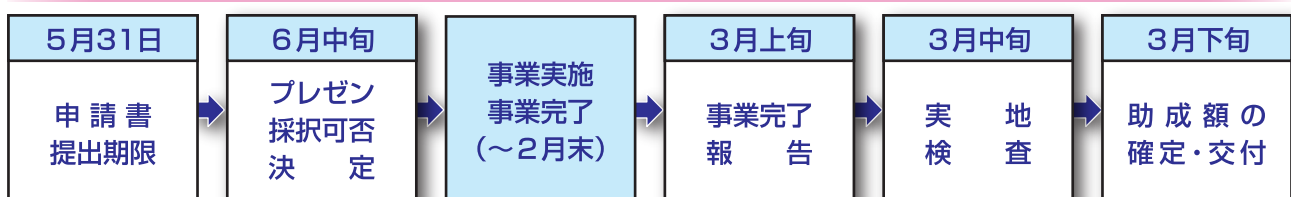
原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、外注加工費、技術指導費、委託費、デザイン開発費、消耗品費他



《 助成事業（P2.P3）の申請書提出期限等について 》

- 1) 申請書の提出期限は、1. 研究開発の支援（P2）、2. 製品開発の支援（P3）は **5月31日（水）17時必着** とし、その他の事業は、お問い合わせください。
- 2) 実施要綱、申請書などは、（公財）道央産業振興財団のホームページから、ダウンロードしてください。

～助成事業（研究開発の支援及び製品開発の支援）の流れ～



■ ホームページ <http://dohgi.tomakomai.or.jp>
 ■ メール dohgi@ains.tomakomai.or.jp



3. 地域産業活性化の支援

申請はお問い合わせください

中小企業や団体等が地域の産業活性化のために行う研究活動や交流活動への参画・費用助成など、地域産業の活性化に寄与する事業を実施します。

①ひとづくり・起業支援事業

地域の活性化を図るため、地域の人材と技術を繋ぐネットワークによるものづくり等の研修・研究活動、ものづくりにかかわる人材を育てる活動を支援

対象事業

- ・地域産業関連の起業や地域産業の活性化を目的とする研修・講演等の事業（大学・公設試験研究機関等との連携事業）

対象経費

会場費、講師の招聘経費、印刷費等

助成限度額
10万円
10/10以内

助成事業成果事例

●苫小牧発明研究会 「自然と遊ぼう！エコ遊び！」

2022年7月9日（土）

●場所：苫小牧オートリゾートアルテン

苫小牧発明研究会は、自然エネルギーや自然環境の大切さ、ものづくりの世界を広く伝えることを目的に「自然と遊ぼう！エコ遊び！」を実施しました。

イタドリの水鉄砲づくりや和紙凧の作成、しゃぼん玉遊びの道具づくりを体験し、参加した子供たちは笑顔で元気に楽しんでいました。



②地域特産品プロジェクト等支援事業

対象事業

- ・地域資源を活用した特産品等の商品化事業、地域の産業おこし、ものづくりプロジェクト（大学・公設試験研究機関等との連携事業）

対象経費

会場費、原材料費、技術指導費等

助成限度額
10万円
10/10以内

4. 経営の支援

申請はお問い合わせください

経営に関する指導助言、販路拡大の取組に対する費用助成など、中小企業の経営基盤の安定化、新事業創出等を支援する事業を実施します。

1) 経営管理支援事業

中小企業の経営力の向上、安定を図るため、人事・労務等の実務に係る情報提供や事業継続計画の策定などの支援を行っています。お気軽にお問い合わせください。

2023年2月10日
「事業継続計画等策定セミナー」を、千歳市の千歳アルカディア・プラザで開催しました。参加者からは、「分かりやすく参考になった」との声がありました。



2) 市場拡大等支援事業

中小企業が自ら製作した製品を国内の展示会に出展し、販路拡大等を図るため、出展に要する経費の一部を助成します。出展する場合は、あらかじめ業務部へお問い合わせください。

① ビジネスEXPO 2023 への出展

開催時期

2023年11月9日(木)～10日(金)

開催場所

アクセスサッポロ(札幌市白石区)

対象経費

小間料を助成します。



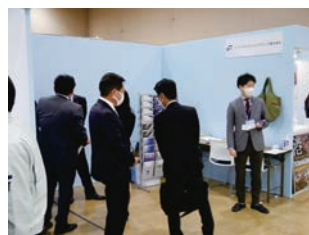
● ビジネスEXPO 2022

道内の中小企業の販路拡大、技術力向上等を目的とし新たなビジネスチャンスの創出を目指した北海道最大級の展示会で、2日間で約24,000人の来場者と約9,000人のWeb視聴がありました。

北海道曹達㈱、フードテクノエンジニアリング㈱、㈱岡田建具製作所の3社が助成を受けて出展しました。

● 開催日：2022年11月10日(木)・11日(金)

● 開催場所：アクセスサッポロ(札幌市白石区)



b
Business EXPO

② その他の展示会出展

道外で開催する展示会に出展する場合、20万円を限度に出展小間料を助成します。

※ 年度内1社1回です。



5. 技術者等の育成

申請はお問い合わせください

各種技術研修等の参加支援や中小企業の技術者育成に要する費用の助成、専門家による技術支援など技術者等の育成を支援する事業を実施します。

1) 技術研修助成事業

中小企業等が従業員の技術及び知識の習得に必要な研修等の受講料を助成します。

技術研修助成事業（能力開発セミナーの受講助成）

対象事業

- ・生産現場の実技研修（機械保全、PLC制御等）
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構主催の
下記研修会場で行う能力開発セミナー
（1事業所が同一年度内に受講できる人数は上限があります）

受講料

全額助成

＜研修会場＞

- 北海道職業能力開発促進センター
（ポリテクセンター北海道）
札幌市西区二十四軒4条1丁目4-1
- 北海道職業能力開発大学校
（北海道ポリテクカレッジ）
小樽市銭函3丁目190番地
- 苫小牧市テクノセンター
苫小牧市字柏原32番地の27

研修風景



2) 技術人材研修助成事業

中小企業の技術者や研究者が高度技術の研究開発に取り組むため、道内外の研究・研修機関で実施する研修会等への派遣、工場等における社内研修に対し、その経費の一部を助成します。

①技術者等人材研修助成事業

対象事業

- ・大学、企業等における研究・研修機関等で行う研修
3日間以上の研修（1企業1名のみ）
交通費、宿泊費、研修参加費の10/10を助成

※ 中小企業大学校旭川校で行う3日以上研修も対象となります。

助成限度額

10万円

②工場等社内研修助成事業

対象事業

- ・工場等社内で実施する研修
対象人員の半数以上受講
講師の招聘経費（交通費、宿泊費、謝金）の10/10を助成

助成限度額

10万円

3) 専門家派遣助成事業

中小企業が経営革新または経営課題の解決、生産技術の課題解決などを図るため、必要な専門的知識と実務経験を有する専門家から指導、助言等を受けるために要する経費の一部を助成します。

対象事業

- ・経営及び技術上の課題解決を図るため専門家の指導及び助言を受けるために行う事業

専門家の技術指導料・交通費・宿泊費の全額を助成
(15万円限度)



6. 産業力強化支援

技術コーディネート事業

ものづくり基盤技術の高度化を図るため、技術相談・助言・技術開発及び製品化等のコーディネート活動、技術力及び生産性向上支援や各種補助制度紹介、申請支援等を行います。

〈主な活動内容〉

- ・技術相談及び助言等の支援活動
- ・産学官情報交流等の活動
- ・産業支援機関等との連携活動
- ・国等のものづくり事業等への支援活動

2021年度 新技術・新製品開発助成事業成果事例

～ 助成事業成果事例 ～

事業名：高出力光コネクタの接続技術の開発

数百Wクラスの高出力レーザーを用いた応用技術や普及が進展している中で、レーザー技術が進歩しつつも、高出力レーザーを簡便に使用するためのコネクタ接続技術が課題でありました。このことから、同クラスの光コネクタ結合を実現するため、アダプタ内に配置されたレンズを用いて光結合に代わる新たな高出力コネクタ技術を開発することにより、高効率で発熱抑制となる光コネクタ結合を目指した事例です。



高出力光コネクタコード 全景



高出力光コネクタ 接続部

フットニックスサイエンステクノロジ(株)
千歳市北信濃 776 番地の 16
電 話：0123-42-0575
URL：http://www.psti7.com/

2022 年度 研究助成・人材育成及び支援事業の概要・実績

事業名	事業者	
★ 新技術・新製品開発助成事業		
継続的な新製品開発の仕組構築による生産工程の合理化	㈱岡田建具製作所	恵庭市
持続可能な材料を活用した新規建材の開発 (大形状ジオポリマーボードの低圧熱プレス成形技術の確立)	岩倉化学工業㈱	苫小牧市
割付おまかせテープ販売管理システム開発	梨木工業㈱	苫小牧市
シャインマスカットの長期保管に向けた技術開発	フードテクノエンジニアリング㈱	苫小牧市
★ 技術開発の芽育成助成事業		
未熟(摘果)トマトの高付加価値化加工方法の開発	日生バイオ㈱	恵庭市
C-OCGR の製品開発(小型過電流・漏電電流継電器)	㈱電気工事西川組	苫小牧市
若年層への新製品拡販事業(セカンドブランドの立ち上げ)	協和製菓㈱	苫小牧市
コラーゲン入りナチュラルチーズの新規開発	㈱プロセスグループ夢民舎	安平町
★ 製品開発助成事業		
色付き餃子の皮の開発	㈱マルカツ製麺	恵庭市
★ ひとづくり支援事業		
自然と遊ぼう! エコ遊び!・発明&デザイン 地域宝おこし	苫小牧発明研究会	苫小牧市
安平町誘致企業会「経済セミナー」～北海道の明日を創る～	安平町誘致企業会	安平町
★ 市場拡大等支援事業		
ビジネスEXPOへの出展(札幌市)	北海道曹達㈱ 他	3社
スーパーマーケット・トレードショーへの出展(千葉市)	㈱肉の山本 他	4社
FOOD STYLE Japan 2022 への出展(東京都)	協和製菓㈱	1社
FOOD STYLE Kyushu 2022 への出展(福岡市)	㈱プロセスグループ夢民舎	1社
★ 専門家派遣助成事業		
北海道大麦若葉エキス末(青汁)の一般食品向けレシピ開発	日生バイオ㈱	恵庭市
★ 技能・技術育成研修事業		
能力開発セミナー	受講者	合計 64名
技術者等養成研修助成事業	北海道中央葡萄酒㈱ 他	2社

※事業別助成件数の推移

(年度/件数)

事業名	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
新技術・新製品開発助成事業	4	4	4	4	4	3	4
技術開発の芽育成助成事業	2	5	2	4	4	1	4
製品開発助成事業	1	1	1	1	1		1
地域資源活用助成事業		1		1			
地域ものづくり助成事業		1		1	1		
ひとづくり支援事業	2	2	2	2	1	1	2
地域特産品プロジェクト支援事業				1			
市場拡大等支援事業	18	14	18	14	9	10	9
専門家派遣助成事業	2	1	2				1
技能・技術育成研修事業 (受講者数)	99	121	106	131	23	46	64
技術人材研修助成事業		1	1	1		2	2

財団助成事業紹介

【事業名:北海道大麦若葉エキス末(青汁)の一般食品向けレシピ開発】

日生バイオ株式会社 北海道研究所



北海道営業部長
多田 祐也

管理栄養士
井上 真季子

2022年度当財団「専門家派遣助成事業」の助成を受けて開発した「北海道大麦若葉エキス末(青汁)の一般食品向けレシピ開発」について、北海道営業部長の多田祐也さんと、管理栄養士の井上真季子さんにお話をお伺いしました。

◇日生バイオ株式会社について

当社は、1994年9月に核酸を中心とした機能性食品の研究開発を主たる事業として創業を開始し、健康食品・化粧品の原料製造・販売を行う会社です。2004年に恵庭市に北海道研究所を、2016年に南幌町に北海道工場を設立、2017年に「なんと！おいしい若葉のしずく」の販売を開始、2022年に販売5周年を迎え、現在に至ります。

◇北海道大麦若葉エキス末(青汁)の一般食品向けレシピ開発を目指した訳を教えてください

弊社は、北海道産の大麦若葉を原料としてエキス末の製造を行っており、その原料を使った青汁「なんと！おいしい若葉のしずく」を2017年度より販売しています。

従来、青汁は「苦い」「まずい」といったイメージが強いですが、お子様からお年寄り、野菜が苦手な方など幅広い年齢層の皆さまに、美味しく、気軽に普段の食生活に摂り入れていただきたいという思いから、水やお湯などに溶かして飲むシーンだけではなく、青汁を使った一般食品向けレシピの開発を目指しました。

■会社情報

設立：1994年(平成6年)9月
代表：代表取締役 松永 政司
住所：恵庭市恵み野北3丁目1-13
電話：(0123)37-5533
業種：健康食品・化粧品の製造、販売
URL：<http://www.nisseibio.co.jp>

◇開発の成果について

幅広い年齢層にも美味しく青汁を摂り入れていただけるようなレシピが開発出来ました。大麦若葉エキス末は、濃厚で旨味や甘みがあるのが特徴で、非常に使い勝手が良く、どんな料理にも合わせることが出来ました。

また栄養価が高いことから、野菜が苦手な栄養(ビタミン、ミネラル類の不足)が偏りがちな方に向けて、普段の食事でも不足しがちな栄養素を手軽に補えるレシピや、栄養素の吸収をより高める組み合わせのレシピを意識しました。

◇今後の予定・展望など

開発したレシピは、一般消費者向けのレシピ集としてHPやSNS等を活用し、広く認知してもらえるような取組を進め、引き続き、毎日の食卓で美味しく簡単に作れるレシピ開発を行っていく予定です。

また、恵庭市内や道内の食品製造企業とのコラボを目指し、より多くの皆さまと開発、商品化を進めたいです。

青汁がより身近な存在となり、一般消費者の健康増進の一翼を担えるよう地域社会に貢献してまいります。



公益財団法人 道央産業振興財団は、 道央地域の“ものづくり”を支援します

《苫小牧市・千歳市・恵庭市・安平町》

『ものづくり』に取り組む企業の皆様に、様々な支援や技術者の育成を通じて、企業力向上のお手伝いをしています。

☆技術コーディネーター

技術力及び生産性向上に向けて、各種補助制度の紹介と申請支援などを行っていますので、ぜひお問い合わせください。



ナカニシ ゲンイチ
中西 玄一



ナカノ ジュンイチ
中野 純一



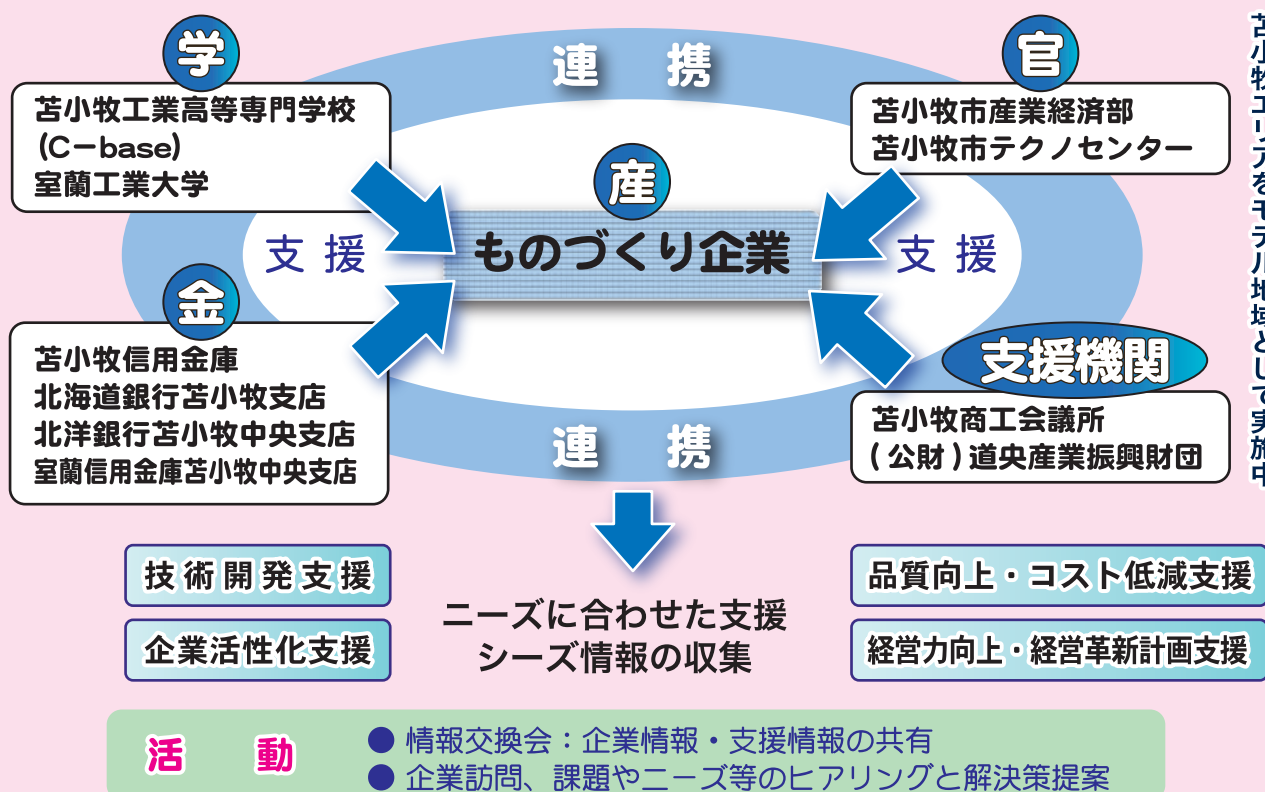
カメタ オサム
亀田 修

☆業 務 部

技術開発・製品開発・人材育成等の財団助成制度の窓口です。

GKK（ものづくり企業活性化チーム 学・官・金 - 道央圏）

学・官・金の実務担当者がチームを組み、ものづくり企業（道央圏域）の技術支援、各種支援制度の活用、技術情報の提供をはじめ、様々な御相談に応じています。



苫小牧市テクノセンター

地域企業の技術力向上と工業技術高度化への支援を行っています。

- ① 研 究 開 発 支 援 …… 企業が必要とする新製品、新技術の研究開発を推進するための技術的支援
- ① 試 験・検 査・証 明 …… 企業からの依頼による材料試験、精密測定、非破壊検査の実施と成績書の発行
- ① 設 備 機 器 の 開 放 …… 設備機器の取扱指導及び利用開放
- ① 技 術 指 導、相 談・研 修 …… 技術力向上に資するための相談、指導、研修
- ① 産・学・官 交 流 …… 企業と大学・工業高等専門学校及び公的試験研究機関との連携
- ① 情 報 受 発 信 …… 工業技術に関する資料、専門図書及び試験・研究・製品の資料整備と提供

令和4年度 導入機器(更新)

微小硬度計 (マイクロビッカース硬度計)

(株) フューチャテック 製 FM-810B

【装置概要】

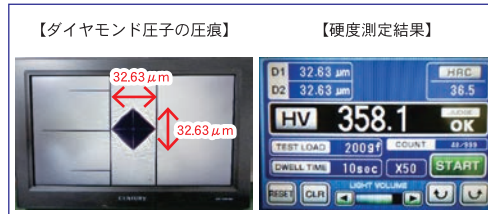
◇被測定物表面に四角錐形のダイヤモンド圧子を押し込み、生じた四角形のくぼみ(圧痕)の対角線長さを計測して、測定物の硬さを算出する機器です。

【目的・使用例】

- ◇工業製品の硬度値の確認
- ◇材料の熱処理状況の確認
- ◇JIS規格等の硬度値(規格値)との比較
- ◇微小部の硬度値の確認

【分析対象物】

- ◇鉄鋼材料、アルミ材料、銅材料等の金属材料
- ◇金属材料の熱処理後の硬化層測定



苫小牧市テクノセンター

所在地：〒059-1362 苫小牧市字柏原32番地の27

電 話：(0144) 57-0210・FAX(0144) 57-1122

URL：http://www.tomatech.jp・E-mail tomatech@tomatech.jp



地域の話題

「第39回 全国都市緑化北海道フェア」が恵庭市で行われました

令和4年6月25日(土)から7月24日(日)までの30日間、第39回全国都市緑化北海道フェア(愛称: ガーデンフェスタ北海道2022)が恵庭市の花の拠点(はなふる)をメイン会場として開催されました。全国都市緑化フェアは、国民一人ひとりが緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしのあるまちづくりを進めるための普及啓発事業として、昭和58年(1983年)から毎年、全国持ち回りで開催されている花と緑に関する国内最大級のイベントで、北海道では36年ぶり2回目の開催となりました。

期間中にメイン会場には約34万人の来場があったほか、道内32か所の協賛会場にも多くの来場がありました。また、フェアの中心の行事として、秋篠宮家佳子内親王殿下の御臨席を賜り、7月13日(水)に令和4年度全国都市緑化祭りが開催され、記念植樹や恵庭市内の小学生による緑化宣言が行われました。



